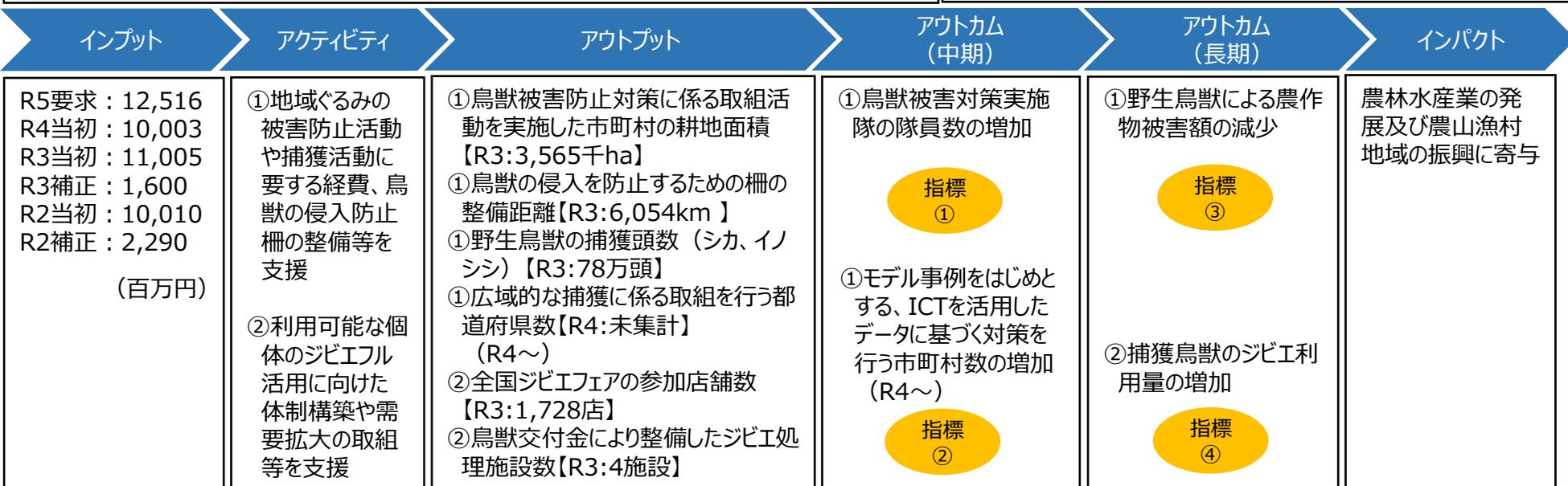


<b>事業等名</b>	<b>鳥獣被害防止総合対策交付金</b>	<b>担当部局</b>	農村振興局鳥獣対策・農村環境課
<b>【現状・課題】</b> 近年、野生鳥獣による農作物被害が深刻化・広域化し、地域社会の存続や食料生産全体に対する脅威となっていることから、本交付金により、野生鳥獣による農作物被害の低減や捕獲鳥獣のジビエ利活用を推進している。		<b>【現状・課題を示すデータ】</b> 農作物被害額（H22：239億円→R2：161億円） ジビエ利用量（H28：1,283t→R2：1,810t）	



- 指標  
①

鳥獣被害対策実施隊の隊員数（単位：人）  
 R1:38,622（目標:-）、R2:39,943（目標:39,100）、R3：41,396（目標：40,000）、最終目標年度R7（目標：43,800）  
 ※本目標はR1を基準年としているため、R1の目標値なし
- 指標  
②

モデル事例をはじめとする、ICTを活用したデータに基づく対策を行う市町村数（R4～）  
 R4:未集計（目標：21）、最終目標年度R7（目標：42）
- 指標  
③

野生鳥獣による農作物被害額（単位：億円）〔「野生鳥獣による農作物の被害状況調査（農村振興局鳥獣対策・農村環境課調べ）」より〕  
 R1:158（目標:144）、R2:161（目標:135）、R3：未集計（目標：126）、最終目標年度R5（目標：108）  
 ※R3実績はR4.10月頃に把握の見込み（野生鳥獣による農作物被害調査集計前のため）
- 指標  
④

捕獲鳥獣のジビエ利用量（単位：t）〔「野生鳥獣資源利用実態調査（大臣官房統計部）」より〕  
 R1:2,008（目標:-）、R2:1,810（目標:2,340）、R3：未集計（目標：2,672）、最終目標年度R7（目標：4,000）  
 ※本目標はR1を基準年としているため、R1の目標値なし ※R3実績はR4.9月頃に把握の見込み（野生鳥獣資源利用実態調査集計前のため）

**外部の影響要因**

- ・鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（環境省）
- ・鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（農水省）
- ・シカ等による森林被害緊急対策事業（林野庁） ・指定管理鳥獣捕獲等事業（環境省）